

各位

会社名 エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社
代表者 取締役社長 若林 純
(コード番号:8242 東証・大証第1部)
問い合わせ先 広報部長 佐藤 恵子
(TEL 06 - 6367 - 3181)

複合施設「阪急大井町ガーデン」2011年3月 開業について

当社は、かねてから計画中の JR 大井町駅前(東京都品川区)再開発において、ビジネスホテル、百貨店をはじめとする商業施設を組み合わせた複合施設として2011年3月に「阪急大井町ガーデン」一期部分を開業いたします。

1. JR大井町駅前再開発

大井町では、1953(昭和28)年に阪急百貨店東京大井店として東京に初進出し、1971(昭和46)年には百貨店に隣接した土地にホテル、ボーリング場、スイミングプールを併設し、地域と共生してまいりました。そして、2007年に、建物の老朽化対策として、耐震性能の向上・安全性の強化を目的に、全面的な建て替えを行うことを決定いたしました。建て替えプロジェクトは、ホテル・商業施設の一体的な開発を行うことで、国内外のアクセス性が高まるJR大井町駅前という立地のポテンシャルを最大限活用するものです。

2. 一期部分開業について

今回開業する「阪急大井町ガーデン」は、日本最大級のビジネスホテルをはじめ、2008年3月に建て替え工事により閉館した「阪急百貨店大井食品館」、さらに温浴施設、テニス&ゴルフレッスン場、貸し会議室を設け、ビジネス、旅行といった首都圏外からのお客様だけでなく、近隣に居住される地元の方々にも、便利で快適、親しみやすい場所としていつも賑わう、大井町の新たなランドマークを目指してまいります。

3. 今後のプロジェクト(二期部分)について

2014年に開業予定の二期部分では、ホテル、商業施設などを予定しております。詳細な計画については決定次第、お知らせいたします。

4. 業績に与える影響

今回の一期部分の開業が当社グループの連結業績に与える影響は軽微ですが、初年度売上目標は、それぞれ、ホテル部分18億円、阪急百貨店大井食品館65億円を想定しております。なお、次年度以降につきましても、当社連結業績に貢献するものと想定しております。

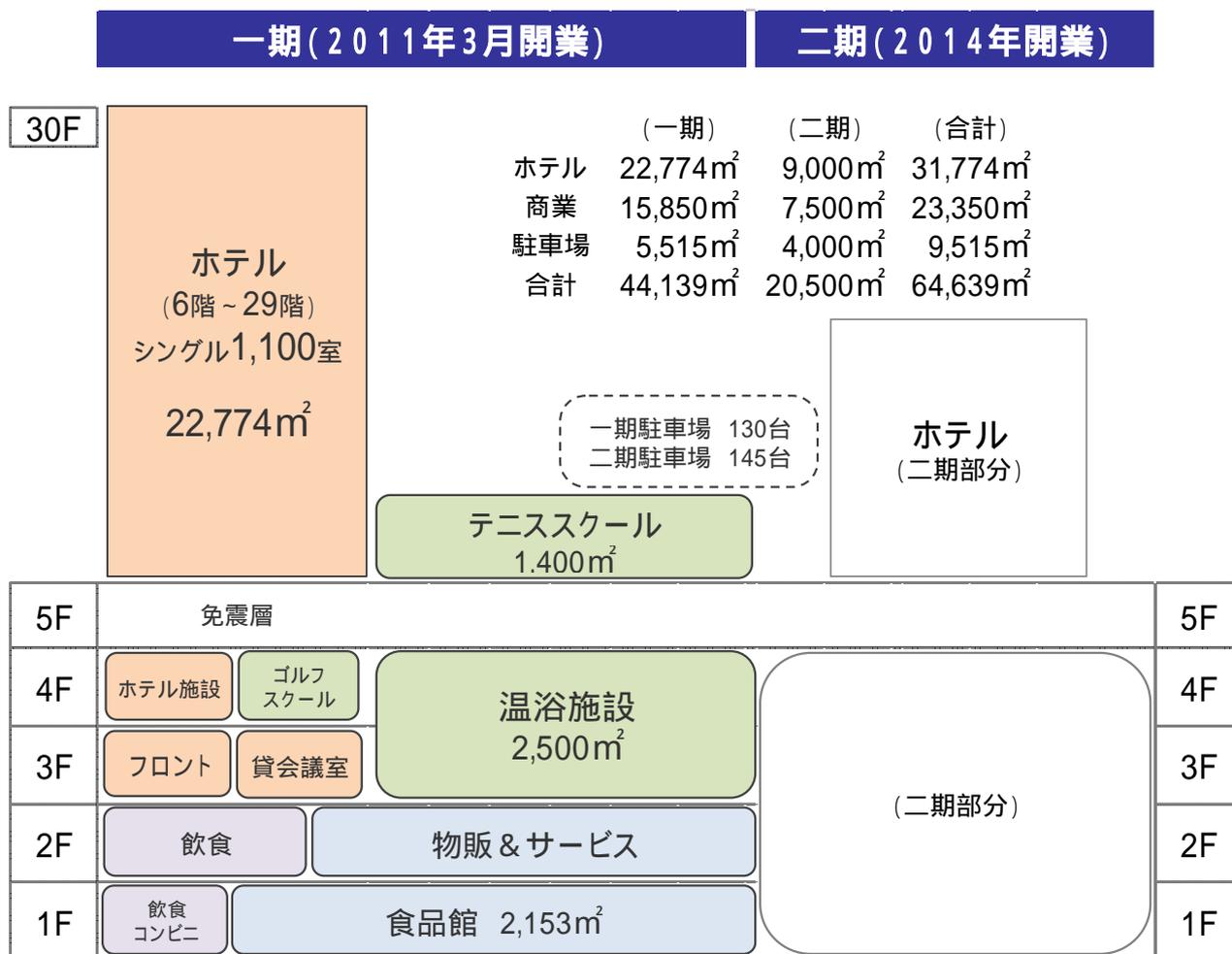
ホテル、百貨店の詳細につきましては、3ページ以降をご覧ください。



「阪急大井町ガーデン」完成予想パース

2011年開業の一期部分はイメージ図の中央左側部分
グランドオープンは、2014年を予定

阪急大井町ガーデン施設構成(予定)



「阪急大井町ガーデン」施設概要 (2011年3月竣工一期部分)

	ホテル	商業核テナント
(1)名称	アワーズイン 阪急	阪急百貨店大井食品館
(2)運営	株式会社アワーズイン阪急	株式会社阪急阪神百貨店
(3)施設面積	22,774m ²	2,153m ² (営業面積)
(4)フロア構成	客室 6階~29階	商業棟 1階
	フロント(3階)	
	* 温浴施設(3~4階)	
(5)初年度売上目標	1,800百万円	6,500百万円

〔二期部分概要〕 二期部分完成グランドオープンは2014年を予定

ホテル面積 9,000m² 客室プラン検討中
 商業施設面積 7,500m² フロア構成等検討中
 駐車場面積 4,000m² 145台 一期、二期合計台数 275台を予定

日本最大級1,100室のビジネスホテルが誕生

全室シングルルーム 5,500円(税込み)

OURS INN HANKYU

アワーズイン 阪急

2011年3月14日(月)オープン予定

アワーズイン阪急は1971(昭和46)年の開業以来40年にわたり、ビジネスホテルのパイオニアとしてご愛顧いただいてまいりました。2011年3月、東京の玄関口として新たな注目を集めている大井町のランドマークを目指し、「ビジネスホテルの進化系」として生まれ変わります。

■JR大井町駅前 都内有数の好ロケーションがますます便利に

アワーズイン阪急は、従来より東京都心へのアクセスや広域アクセスにも恵まれたロケーションでご支持を集めてまいりました。本年10月には羽田空港に国際線ターミナルが誕生し、ビジネス・観光の拠点性がいっそう高まることで、その利用者はさらに増加すると見込まれます。

■快適な滞在を追求したシングルルーム すべて税込み5,500円

新たなビジネス客・観光客をお迎えするべく、アワーズイン阪急は、ビジネスホテルとしては日本最大級の1,100室にスケールアップします。客室は、お客様のお一人おひとりにさらに心地よく、便利に滞在していただけるよう、時代に見合った「高付加価値」を追求しました。全室がシングルルーム、いずれも5,500円(税込み)の均一料金でご提供いたします。



<施設概要>

(1)客室のコンセプトは、「ナイススリーピング」&「リフレッシュ」

客室には、極上の眠りへ誘うとの定評があり世界中で愛される、米国「シモンズ社」のベッドを導入するほか、機能的で快適な空間を実現しました。また内装は、「心地よい眠り(快眠)」と「さわやかな目覚め(快醒)」をキーワードに各2色、4つのカラーバリエーションからお好きな色を選んでいただけます。

[ナイススリーピングルーム]



[リフレッシュルーム]

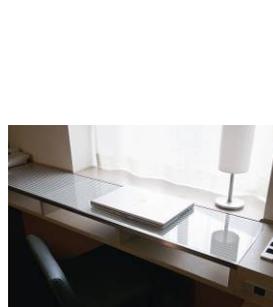


【客室面積】 全室12.5㎡

【室内設備】

- ・洗面、トイレと独立したシャワーブース
- ・「シモンズ社」製ベッド
- ・温度設定がコントロール自在の個別空調
- ・LAN回線完備
- ・26型液晶テレビ、VOD(ビデオ・オン・デマンド)システム
- ・冷蔵庫、ドライヤー ほか

※歯ブラシ、ひげそり、ヘアブラシなどのアメニティグッズは、従来通りお客様にご持参いただきます。



●女性おひとり様にもうれしい「女性専用フロア」

3フロア138室(全室禁煙)をご用意しました。女性専用エレベーターを設置しており、チェックインや館内の温浴施設へも安心、快適に移動していただけます。

●選べるパッケージプラン

朝食、スパ、マッサージ、VOD(ビデオ・オン・デマンド)など、お客様の目的やニーズに合わせた多彩なプランを多数ご用意しています。

(2) 緑豊かなやすらぎの空間 エントランス・ロビー

ホテルデザインにはロハスの思想を採り入れ、ナチュラルな感覚を重視しました。ホテルの顔であるエントランス・ロビーは緑に囲まれ、ウッドを多用した温かみのある環境に仕上げました。

またロビーに連続するスペースには、グリーンウォールとテラスのあるバーラウンジを設け、緑を眺めながらゆったりとおくつろぎいただけます。

[エントランス、フロント、ロビー]



(完成予想図)

【フロントサービス】

- ・14時からのチェックイン
- ・24時間フロント対応
- ・事前精算による簡単チェックアウト

[テラスで緑を眺めながらゆったりすごせるバーラウンジ]



(完成予想図)

【選べる朝食500円(税込み)】

- ・バーラウンジにて、焼きたてパンと淹れたてのコーヒーをご用意します。
- ・そのほか館内の和食店で、朝食もご利用になれます。

(3) さらに充実 癒しのスパ

従来より宿泊の魅力として評価の高い温浴施設は、内容がさらに充実しました。人工温泉、岩盤浴、露天風呂といったお風呂やサウナ、お休み処をご用意しています。

※ご宿泊のお客様は、お得な料金でご利用になれます。
※部屋着のままでお越しになれる専用通路もございます。



(完成予想図)

(4)多様なニーズに対応する 貸し会議室

会議、セミナー、研修、展示会など、さまざまな用途での利用が可能です。立食パーティーも承ります。

大会議室	115m ²	(スクール形式60名)	2室
中会議室	55m ²	(スクール形式25名)	2室
小会議室	25m ²	(スクール形式12名)	1室



(写真はイメージです)

(5)充実の館内施設

快適なホテルライフを満喫していただけるよう、バラエティ豊かな付帯施設を配しました。

- ・阪急百貨店大井食品館(1階)
- ・コンビニエンスストア(1階)
- ・和食、洋食、中華料理が揃う飲食店舗(1階、2階)
- ・その他、物販・サービス店舗

(6)見晴らしもよく 地球環境にもやさしく

建物は免震構造で地上29階建て(地上100m)、地域内では最高層となります。品川の高層ビル群、レインボーブリッジ、羽田空港の離発着、さらに晴れた日には富士山、東京スカイツリーが望めます。

また建物では、内外の緑化をはじめ、内装に間伐材の使用、客室・廊下にLED照明の採用、最新の節水型便器、個別空調の導入などを行い、地球環境に配慮したホテル作りに努めました。

<ホテル運営会社概要>

◎社名	株式会社アワーズイン阪急 ※持株会社エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社の100%(間接)子会社
◎本社所在地	大阪市北区角田町8番7号(登記面)
◎事業所	東京都品川区大井1丁目50番5号
◎電話番号	03-3775-8411
◎主な事業	ホテル業、建物の賃貸、駐車場の経営 他
◎設立年月日	1969(昭和44)年9月10日
◎開業年月日	1971(昭和46)年6月 1日
◎資本金	100百万円
◎取締役社長	大野潤一
◎従業員数	50人

お客様にさらに愛される店へ パワーアップ

阪急百貨店大井食品館

2011年3月_(予定)、3年ぶりに帰ってきます！



1953(昭和28)年、東京では初めての阪急百貨店として開業以来、地域のお客様からご愛顧をいただいていた大井食品館。2008年3月のビルの建て替えにともない、いったん閉館しましたが、2011年3月、さらに愛されるお店をめざしてパワーアップし、大井町へ戻ってまいります。

ストアコンセプト

「おいしくてたのしい 毎日の食卓」

イメージは、活気あふれる“マルシェ(仏語で「市場」の意)”。おいしい商品のラインアップはもちろんのこと、「今日は、何があるのかな?」、「この時間には、これがあるのよね!」と、週ごと、日ごと、時間帯ごとに異なるお買い物が楽しめるしかけ作りで、一日に何度でも足を運んでいただけるような売場を展開します。

生鮮品では、従来から評判の高い近海直送の鮮魚や銘柄牛をはじめ、日本有数の規模を誇る近隣の卸売市場「大田市場」から、フレッシュな野菜や果物を入荷します。

その他にも、地方の名産や銘店の味を取り揃えたグロッサリーや、人気ショップのできたて惣菜、流行・話題のスイーツなど、各カテゴリーの品揃えの充実を図ります。さらに、物産展や週替わりのスイーツ特集といったイベントの開催など、“デパ地下”のいいところが満載、地元のお客様が自慢したくなるような店作りを目指します。

お客様像

昔からのお客様に加え、近年新たにこのエリアに移住された方々からもご支持をいただけるよう努めてまいります。

(1) 大井食品館ファン客

開業当初から、店の成長を支えてくださっている地域のお客様。

2008年3月の閉館以降も、中元・歳暮などのご利用で引き続きご愛顧くださっている大井町居住のミセス&シニア層

(2) 新規顧客

近年の再開発にともなって大井町へ転居された単身世帯やニューファミリー層の若い世代

< 商圏 > [半径] 1.5km [人口] 19.0万人 [世帯数] 9.8万世帯

JR大井町駅…乗降者数 約18万人/日(2008年統計)

東急大井町駅…乗降者数 約12万人/日(2008年統計)

りんかい線大井町駅…乗降者数 約6万人/日(2007年統計)

店舗概要

店舗名	阪急百貨店大井食品館
所在地	東京都品川区大井1丁目50番5号
営業面積	2,153㎡
初年度売上目標	6,500百万円

沿革

- 1953(昭和28)年11月23日 「阪急百貨店東京大井店」開店
- 1960(昭和35)年11月 5日 「東京大井店」新館増築
- 1971(昭和46)年 6月 1日 「東京大井店」、ホテル阪急、大井コマボーリング場
プールとを総合し「ホップスタウン」の名称で複合施設
としてオープン
- 2000(平成12)年 4月25日 「大井阪急食品館」(1階)を核に、ファッション、生活雑
貨、書籍のショップ、婦人服・子供服のリサイクルショッ
プ(2~6階)などで構成される商業施設「阪急大井町
デイリーショッパーズ」として再編
- 2008(平成20)年 3月31日 建て替えのため閉館

< 本件に関するお問い合わせ先 >

エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社 総務室 広報担当

TEL: 06 - 6367 - 3181